

医療事業部
新入職員歓迎ボウリング大会

5月30日、新入職員を歓迎するためのボウリング大会を開催し、総勢72名が参加しました。新型コロナが5類へ移行し、久しぶりのイベントに大いに盛り上がりました。

【個人順位】※スコアは2ゲームの合計です 2位 中山副主任(放射線科) 合計スコア297
1位 池本さん(腎クリニック) 合計スコア343 3位 柳根さん(放射線科) 合計スコア287



医療事業部 介護事業部
ビアパーティ・ガーデンパーティ開催

7月23日に特別養護老人ホームしんがいで介護事業部のガーデンパーティ、7月27日に広島県労働会館みやびで医療事業部のビアパーティを行いました。

資格取得者表彰、永年勤続表彰の他、医療事業部ではビンゴ大会、介護事業部では技能実習生や特定技能生による演奏と歌の披露があり、楽しい宴になりました。



「グループホームおひさま」地鎮祭

グループホームおひさま 管理者 村上里江

7月6日、グループホームおひさまの増築工事のため、地鎮祭を執り行いました。天候に恵まれ、心地よい風が吹く中、現入居者様にもご参加いただきました。

グループホームおひさまは、認知症のために自宅での暮らしが困難になった高齢者様が、終の棲家として暮らすための施設です。来年3月には1ユニット(9室)増やし

て開設いたします。これからも、入居者様がその人らしい生活を続けられるよう、楽しく笑顔の絶えない施設でありたいと思います。



赤ちゃんが誕生しました★

こんにちは赤ちゃん

<p>山陽病院 看護師 竹林 菜々さん 2022年9月出産 第1子(女)</p>	<p>山陽病院 看護師 田中 未来さん 2023年3月出産 第1子(男)</p>
--------------------------------------------------	--------------------------------------------------

ふれあい

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



134
2023.8発行
TAKE FREE

辰川会 広報誌

アポーデひかり
「特別養護老人ホームひかり」オープン

社会福祉法人さんよう 理事長 辰川和美



昨年秋から建設を進めていた鉄骨3階建ての「アポーデひかり」が完成し、6月24日の落成式を経て、7月1日に「地域密着型特別養護老人ホームひかり」をオープンいたしました。アポーデひかりには、特養のほか、29床の「ショートステイひかり」と「小規模多機能ホームひかり」があり、年内にはフルオープンを計画しています。

芦田川に近い住宅地にあることから、地域住民の災害時の避難場所としても利用できるよう、エレベーターで屋上まで上がれるようにしています。介護現場では、これまで特養くさどと特養しんがいで活用してきたパワースーツやリフト、シルエットセンサーに加え、新たにインカムを導入し、日々のコミュニケーションや記録の入力に利用しています。

初日から数日は慣れないこともあり慌ただしい日々が続きましたが、看護師、介護スタッフの見事な連携で、利用者様には大きな変化もなく穏やかに過ごしていただいています。

辰川会グループに新たに加わった明るくて色彩豊かな「アポーデひかり」の今後の活躍にご期待ください。



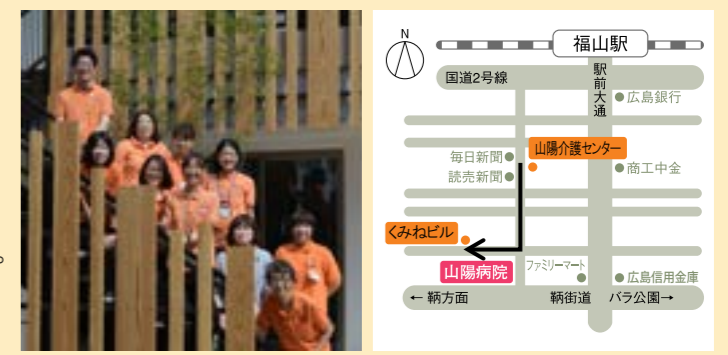
〒720-0831 福山市草戸町3-6-1
TEL 084-961-3480 FAX 084-961-3484

福山市地域包括支援センター野上移転のお知らせ

管理者 栗田一博

福山市地域包括支援センター野上は、7月29日に山陽介護センターから山陽病院北側にあるくみねビル1階に移転しました。

地域包括支援センターは、介護や認知症に関する相談窓口として、地域で暮らす高齢者とその家族の介護、福祉、医療等に関する様々な相談を受け付けています。専門知識を持ったスタッフが連携し、必要な機関と協力・調整をして、問題解決のお手伝いをいたします。



〒720-0815 福山市野上町2-5-9(くみねビル1階) TEL 084-921-0210 FAX 084-921-0243

辰川会グループ

【医療法人辰川会】
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel (084) 923-1133(代) Fax (084) 923-1158
山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel (084) 928-5500(代) Fax (084) 928-5535
山陽ぬまぐま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科
〒720-0311 福山市忍原町早家2031-1 Tel (084) 980-0034(代) Fax (084) 987-3450

【社会福祉法人さんよう】
特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市草戸町5丁目8番24号 Tel (084) 973-9911(代) Fax (084) 928-9988
特別養護老人ホームしんがい
〒721-0965 福山市新道町3丁目19番27号 Tel (084) 961-3955(代) Fax (084) 9261-3950
特別養護老人ホームひかり
〒720-0831 福山市草戸町3丁目6番1号 Tel (084) 961-3480(代) Fax (084) 961-3484

糖尿病教室を再開しました

山陽病院 副主任看護師 矢田川忍

7月8日、山陽病院で、約3年ぶりに糖尿病教室を開催しました。この教室は、患者様が糖尿病について正しく理解し、食事療法や運動療法など、患者様自身で自己管理ができるようになることを目的に始まったもので、山陽病院の糖尿病教室委員会が担当しています。コロナ禍では、感染対策のため対面での教室が行えませんでした。山陽病院待合室のデジタルサイネージを使って、自宅でする運動を紹介するなど、委員会のメンバーが工夫をして情報発信してきました。



今回は久しぶりの対面での開催ということもあり、雨にも関わらず満席になるほど多くの方がお越しくださいました。この日講義を行ったのは、山陽病院の外来で内科を担当している糖尿病専門医・療養指導医の東儀医師と、栄養科

の奥原管理栄養士で、東儀医師は、「糖尿病と慢性腎臓病について」、奥原管理栄養士は、「食事で血糖コントロール」と題して話をしました。講義のあとは積極的に質問が飛び交い、意見交換も行われました。このように、医師をはじめとする医療スタッフに直接質問できるのがこの教室の醍醐味です。

今後は毎月第1土曜日に、新築の「くみねビル(山陽病院北側)」で教室を行います。患者様やご家族様、地域の皆様、どなたでもお気軽にお越しください。

「9タイプ診断」勉強会

山陽病院 公認心理師 岡田大悟

6月29日、山陽病院で9タイプ診断の勉強会を行いました。9タイプ診断とは、90問の質問に答えることで、自分の性格のタイプを知ることができるものです。

自分がどんな性格・タイプの人か把握することは、自分の適職やモチベーションの上げ方、伸ばすべき能力などを知るきっかけになり、他者との円滑なコミュニケーションも取れるようになります。そういったことから辰川会では全職員が入職時に9タイプ診断を受けていますが、今回は指導者向けの内容として全職員を対象に開催しました。

当日はそれぞれのタイプ説明の他、個々の強みや個性を知り、強い組織を作るためのチーム編成への活かし方などを学びました。

9タイプ診断はWEB上でも無料で行えますので、皆様もぜひお試しください。



外国人労働者受け入れ

介護事業部 運営企画部 平田やよみ

社会福祉法人さんようでは、多様性を尊重し、誰もが活躍できる職場づくりを推進しています。現在、フィリピンから4名、ベトナムから3名、ミャンマーから2名、インドネシアから2名の計11名の技能実習生と特定技能生が勤務しています。

実習生との円滑なコミュニケーションを図るために、理解しやすいやさしい日本語を使用し、ピクトグラム(絵文字)を取り入れました。また、不安を減らすために、介護の技

術や手技の統一、バーベキューなどの行事を開催し、職員との関係性を深めています。

勤勉に働く姿勢と学ぶ意欲、サービス精神旺盛で、積極的に挨拶や声掛けをする明るい性格は、ご利用者様や職員からも高い評価を受けており、学ぶべきことが沢山あります。

これからも、国籍を超え切磋琢磨し、いきいきと活躍できる風通しの良い職場づくりに取り組んでまいります。



左から、ケンさん、マリオさん、カンさん、フォーさん 左から、オキさん、ガーさん、アユさん 左から、タイさん、フンさん 左から、アルピンさん、カールさん

鷹取中学校チャレンジウィーク

6月13日～15日、福山市主催の「チャレンジ・ウィーク ふくやま」で鷹取中学校の2年生2名が山陽病院に職場体験に来てくれました。医療現場を知り、業務の一部を体験することで、働くことの大変さを感じたり、医療・介護に興味を持つきっかけになってもらえると幸いです。



2023年度 新入職員 フォローアップ研修

山陽病院 看護師 西本未由

8月5日、神石高原町で行われた研修に新入職員12名が参加し、入職してから4か月の振り返りとグループワークを行いました。グループワークではヒントカードをもとに仲間と協力し地図を完成させるゲームを行い、相手の話に耳を傾ける力や、共感性、他者を尊重する対人スキルを身につけました。

当日はよく晴れていて、みんなでBBQを楽しみながら久しぶりに会う同期と有意義な時間を過ごすことができました。これからも仲間と支え合いながら、チームワークを大切に医療介護に貢献できるように頑張っていきたいです。



第68回 日本透析医学会学術集会・総会

山陽腎クリニック 臨床工学技士 三宅智也

6月16日から3日間、神戸市で開催された日本透析医学会学術集会に、辰川会からは4題発表し、私は「抜針検知器開発の試み」と題してポスター発表を行いました。

透析中の抜針事故は、大量出血の危険があるため重篤な事故として位置づけられています。抜針事故の原因としては、回路固定の不備や穿刺針の留置不備から起こる自然抜針と、認知症患者様による自己抜針などがあります。



当クリニックでは抜針事故を減らすために、市販の防犯ブザーを改良して、穿刺針が抜ける前に警報音を鳴らす抜針検知器の開発に取り組みました。針が抜けた後に知らせるものや、数万円する高価なものは今までもありましたが、今回の研究では1000円程度の価格を抑えたものを製作しました。

当日は、ポスターの前に多くの方がお越しください、大変緊張しましたが、無事に発表することができました。発表後に、大学の先生や他の医療機関の方と意見を交わすことができ、検知器の改良に繋がるアドバイスをいただきました。また、発表の時間外にポスターの写真を撮っている方もいて、自分たちの研究に興味を持っていただけたことを嬉しく感じました。これからも患者様が安心して治療を受けられるよう研究を続けていきたいです。

外部発表

第68回日本透析医学会学術集会・総会 6/16-18 神戸国際展示場

- ・透析患者に対するアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬の使用経験 口演発表
- ・OHDFが腎性貧血に与える影響について ポスター発表
- ・抜針検知器開発の試み ポスター発表
- ・Excelを使用したバスキュラーアクセス管理システムの構築 ポスター発表

- 山陽病院 外科部長 毛利教生
- 山陽腎クリニック 臨床工学技士 井本琢也
- 山陽腎クリニック 臨床工学技士 三宅智也
- 山陽腎クリニック 臨床工学技士 森弘樹